

鳥部集  
 黄白部  
 高尾鹿

特別  
 ~ 5  
 5799  
 5(3)





*[Faint, illegible markings, likely bleed-through from the reverse side]*

*[Faint, illegible markings, likely bleed-through from the reverse side]*

以下  
4 丁  
白紙



田林とておうと  
江守

うたえぬを  
凡

喜日とて  
子

子  
子

子

此  
子

あふゆや 田所の松

く の 松

ま ち の 松

あ の 松

あ の 松

あ の 松

あ の 松

あ の 松

あ の 松

河内山子立花

花也内表雜

多

華歷忌也

十

二十八式同

同

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically on the right page.

Handwritten cursive text, possibly a date or a specific note, written vertically on the right page.

Handwritten cursive text, possibly a date or a specific note, written vertically on the right page.

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically on the left page.

Handwritten cursive text, possibly a date or a specific note, written vertically on the left page.

Handwritten cursive text, possibly a date or a specific note, written vertically on the left page.

りあふ  
いふ  
あふ  
あふ

遠く衣  
あふ  
あふ  
あふ

朝若  
文

衆

あふ



谷崎潤一郎の文壇

徳島の聲年

中野実

玉柳やしのほの

あふ

ねね

よしのほ

七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
廿一  
廿二  
廿三  
廿四  
廿五  
廿六  
廿七  
廿八  
廿九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百

你——

字

加

獨座

本

凡

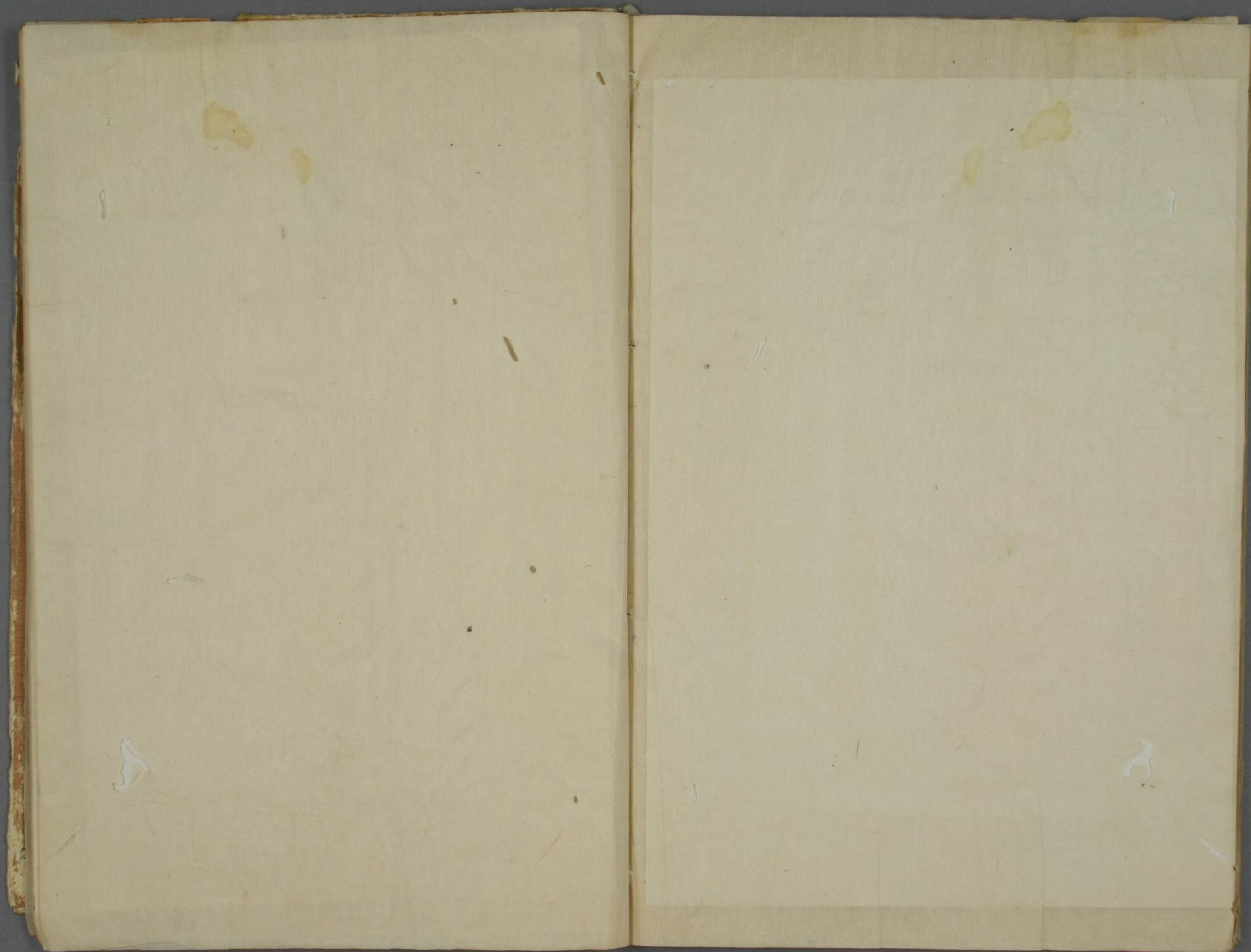
一

二

神を祀りて霜の白く  
きしめしゆていふ  
貝のくらの山の嶺  
を来すも乃月

洛  
丈夫

意者の方の後を以て  
のしるしを記す  
同船のくわん  
入るは名を物と好  
船の同を神



秋の風も  
涼しげな  
おはら

印 郊 如 榮

あらゆ

一 けろく七部同答  
しりあかし 若きるふ師の  
本子登るのの 其るはら  
こころ 若きる同  
何事し 若きるのの 若き  
甲子年 若きるのの 若き



物  
正  
ま  
あ  
り  
け  
る  
の

ま  
ま  
の

あ  
ま  
り  
の

あ  
ま  
り  
の

あ  
ま  
り  
の

あ  
ま  
り  
の

あ  
ま  
り  
の

あ  
ま  
り  
の

あ  
ま  
り  
の

あ

三上は伊て  
清也

伊て  
清也

伊て  
清也

伊て  
清也

伊て  
清也

伊て  
清也

伊て  
清也

伊て  
清也

伊て  
清也

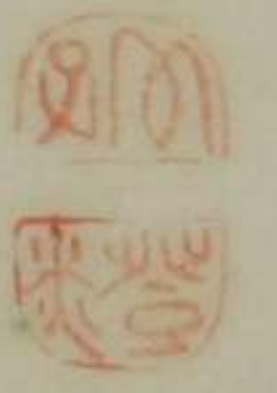
伊て  
清也





古之山如刀下  
峰之石如印上  
筆法

貞松



松  
の  
葉  
の  
香  
を  
か  
げ  
て  
あ  
ら  
ま  
い  
り  
し  
ま  
す

如月

之漢



あ  
ら  
ま  
い  
り  
し  
ま  
す  
の  
香  
を  
か  
げ  
て  
あ  
ら  
ま  
い  
り  
し  
ま  
す

如月

